

子供政策総合推進本部

令和7年1月31日（金）



本日の議事

- 本部長挨拶
- こども未来アクション2025について
- 東京都の少子化対策 2025について



こども未来アクション2025について

こども未来アクション2025（概要版）

- 子供目線で捉え直した政策の「**現在地**」と、子供との対話を通じた「**継続的なバージョンアップの指針**」として**毎年度策定**
- 本アクションに基づき、**チルドレンファーストの東京の実現に向けて、具体的なアクションを実践**

1章 チルドレンファーストの社会の実現に向けて

子供の实態、声や思いを子供政策に反映

○ 多様な手法で聴いた子供の意見やエビデンス

18,000人の 子供の意見

- ◆ 子供の居場所におけるヒアリング
- ◆ こどもワークショップ
- ◆ SNSを活用したアンケート
- ◆ こども都庁モニター
- ◆ 出前授業
- ◆ 中高生 政策決定参画プロジェクト

子供に関する エビデンス(実態や意識)

- ◆ 子供に関する定点調査
「とうきょう こども アンケート」

【調査対象:10,500世帯】

【政策反映の例】

- ✓ 職業体験プラットフォーム（仮称）
- ✓ 2025年開催の世界陸上・デフリンピック
への子供の参画、気運醸成
- ✓ 多摩都市モノレール延伸部のまちづくり



子供へフィードバック

今後のアクション

○ 子供との対話や実態把握の質を向上

各局と連携した
意見聴取の取組を推進



声をあげにくい子供の意見
を的確に把握

- ✓ 各局の取組を子供政策連携室が
伴走支援

- ✓ 困難な状況にある子供の居場所
におけるヒアリングを重点実施

○ 全ての子供と直接つながるデジタル接点を創出

小学生

東京都こどもHP

中高生

中高生Webサイト（仮称）

2026年3月～本格稼働



- ✓ 一人1台端末との
接続を加速
- ✓ 子供の声を聴きながら
内容をアップデート

AIを活用した
学び

相談窓口等
とのつながり

中高生目線で
自ら情報発信

東京都こども基本条例の普及啓発

○ 国内外の多様な主体との連携を通じて

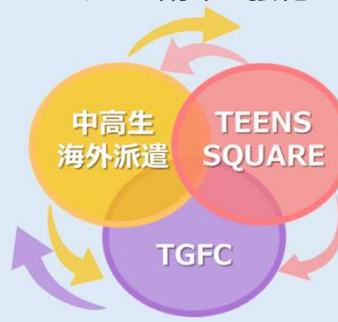
条例理念の発信や意見交換等を行う場を創出



中高生海外派遣
#つながる世界の10代 ワールドキャンパス

- ✓ 海外の子供政策先進都市を
東京の子供たちが訪問

- 交流事業の連携により
シナジー効果を強化



こどもシンポジウム
“TEENS SQUARE”

- ✓ 国内外の子供たちが子供参画の取組等を
意見交換するシンポジウムを開催



東京こども政策国際会議
“Tokyo Global Forum on Children”

- ✓ 海外都市の子供政策の実務責任者を招待し、国際会議を開催



2章 全ての子供の笑顔を育む子供政策強化の加速と深化に向けて

組織横断で取り組むリーディングプロジェクト

プロジェクト① 乳幼児期の子育て

非認知能力の育成など、
全ての乳幼児の「伸びる・育つ」をサポート



- 幼保共通の「とうきょう すくわくプログラム」を全域展開 (拡)
- ✓ 新たに家庭的保育事業や事業所内保育事業等を追加
- ✓ 園の活動充実への助言を行う「すくわくナビゲーター園制度(仮称)」を創設



プロジェクト③ 学齢期の子育て

学び・居場所の多様な選択肢を創出

- 学校外** (拡)

 - フリースクール等を支援
 - ✓ 利用者等への支援
 - ✓ フリースクール等への支援
 - ✓ 多様な学びの調査研究

学校等 (拡)

 - 様々な不登校対策を重層的に展開 (拡)
 - ✓ チャレンジクラスの設置拡大
 - ✓ 「バーチャル・ラーニング・プラットフォーム」の展開
 - ✓ 教育支援センターの機能強化
 - 保護者の不安や悩みをサポート (新)
 - ✓ 情報を一元的に入手できるポータルサイトや相談会の開催 (新)
 - 不登校児童生徒の低年齢化への対応



プロジェクト② 子育てのつながり創出

リアルとバーチャルの双方から日常的な不安や悩みに寄り添う

リアルなつながり

- 「ファミリー・アテンダント」を充実
- ✓ 特に不安が生じやすい0歳児家庭に対して全戸訪問による見守り等を行う区市町村を支援



デジタルによるつながり

- “ギョツとチャット”を開設 (2025年1月～先行稼働) (拡)
- ✓ SNS等を活用し、匿名で気軽に相談
- ✓ AI活用により安心で利便性の高い環境を創出



プロジェクト④ 学校の居心地向上

学校風土を改善、子供が直面する問題の発生を未然防止

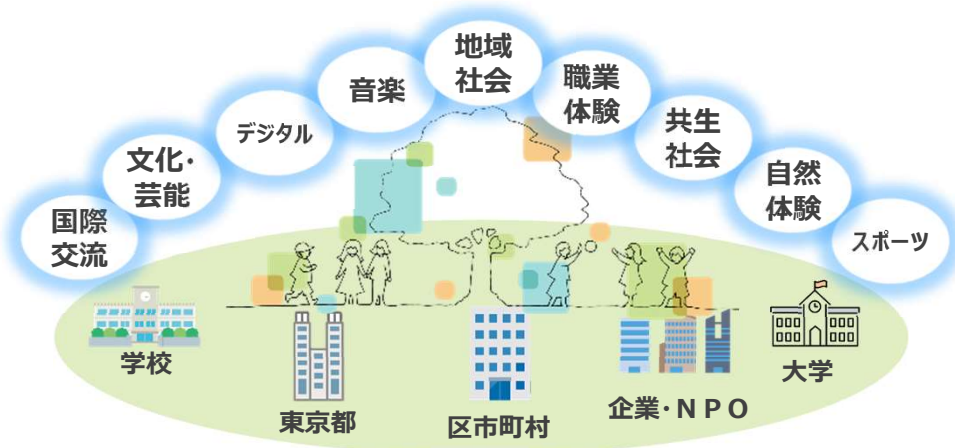
- 東京都医学総合研究所等と連携し、取組を推進 (新)
- ✓ 取組効果の検証スキームや居心地向上の実践プログラムを構築し、取組を行う高校・中学校数を拡大
- ✓ 小学校を対象としたスキーム等を検証



プロジェクト 5 子供の未来を育む「体験活動」の推進

子供の豊かな育ちを社会全体でサポート

- 学校内外で様々な体験活動を創出 新



- ✓ 子供・若者の自立・発達に向けた**多様な体験ができる拠点**を整備
- ✓ **中高生のニーズ**を踏まえた**職業体験**の機会を提供
- ✓ **体験活動の創出**に取り組む区市町村を支援

プロジェクト 6 子供の笑顔につながる「遊び」の推進

子供が伸び伸びと遊び、他者と交流

- 子供の意見を反映した遊び場づくりを推進
 - ✓ プレーパークやボール遊び場など**地域資源を活用した遊び場等の創出**に取り組む区市町村を支援
- 地域の特色を生かした遊びの機会を創出 新
 - ✓ **遊びの機会の創出**等に取り組む区市町村を支援



プロジェクト 7 子供を事故から守る環境づくり

子供が安心してチャレンジできる社会を実現

- 事故情報オープンデータベースを構築・利活用
 - ✓ **AI活用**等、データベースの**利便性を向上**
- エビデンス・ベースの事故予防策等を戦略的に発信



プロジェクト 8

ヤングケアラーを支える

当事者へ寄り添い、切れ目なくサポート

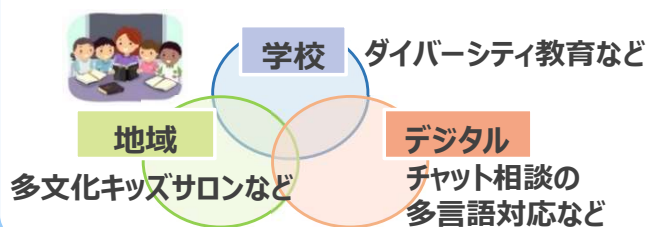


- ヤングケアラーについて**理解を促進し、拡正しい知識を浸透**、社会的認知度を向上

プロジェクト 9

日本語を母語としない子供を支援

地域・学校への適応、 心理・生活面を支援 拡



プロジェクト 10

ユースヘルスケア

思春期特有の健康上の悩みを解消



- **思春期に知っておきたい健康情報をユース目線で発信** 拡

子供政策強化に向けた重点アクション

政策の柱 1

誰一人取り残さない視点から、子供へのサポートを強化

- いじめ対策
 - ✓ 児童・生徒への**教育相談体制**を充実
 - ・子供・保護者から相談を受ける**弁護士等の配置支援** **新** 等
- 児童虐待防止対策
 - ✓ **広域的・専門的課題**への対応に向け、**児童相談体制**を強化 **新**
- 多様な子供の居場所創出
 - ✓ **多様なニーズ**を踏まえ、**様々な子供の居場所**を創出
 - ・小学校を活用した**朝の子供の居場所づくり** **新** 等
- 社会的養育
 - ✓ **里親制度の普及**や**里親への支援**を充実 **拡**



政策の柱 2

子育て家庭に寄り添い、子供の育ちを支える環境を充実

- ライフステージを通じた切れ目ない支援の充実
 - ✓ 都内全ての子供の**保育料等**を**無償化** **拡**
 - ✓ **都立高校等**の**授業料**を**実質無償化**
 - ✓ 子育て世帯等が住みやすい**アフォダブル住宅**を供給 **新**
- 学童クラブの整備・サービスの質の向上
 - ✓ 2027年度末までに**学童保育の待機児童**を解消
 - ・都独自「**認証学童クラブ制度**」の創設 **新** 等
- こどもDXの推進 **拡**
 - ✓ **プッシュ型子育てサービス**の実現
 - ✓ **保活ワンストップ**の実現 等



第一子まで拡大



政策の柱 3

「東京型教育モデル」により、教育の質を向上

- 都立高校の変革「**新たな教育のスタイル**」の展開 **新**
 - ✓ 一人ひとりの興味・関心に応じた教育への変革を推進し、**新たな価値や解決策を創造する人材**を輩出
 - ・デジタルとリアルを融合した新たな学び
- グローバルに活躍できる人材の育成
 - ✓ 都立学校で**国際交流プログラム**を実施 **拡**
- 特別な支援を必要とする児童・生徒に対する教育の充実
 - ✓ **特別支援学校**と**都立高校等**の**協働活動**を実施 **新**
 - ✓ **デフリンピック大会**を契機とした聴覚障害教育の推進・理解啓発



東京2025
デフリンピック大会エンブレム

政策の柱 4

多様な主体と連携し、子供の笑顔を育むアクションを展開

- こどもスマイルムーブメント
 - ✓ 「**社会全体で子供を大切にする**」ムーブメントの理念を発信し、気運を醸成
 - ✓ 子供の**社会参画の機会**を創出
 - ・職業体験を希望する中高生と企業・団体をマッチングする「**職業体験プラットフォーム（仮称）**」を構築 **新** 等
- 育業の推進 **拡**
 - ✓ **職場の同僚への支援**に向けたアプローチ
 - ✓ **若年層**へのアプローチ
 - ✓ **多様な働き方**を支援 等



育 業
いぐよう
みんなで育てるしごと

成人への移行期にある年代を含めた切れ目のない支援

◆ 都市の活力の源泉は「人」

「人」の力を高め、「人」の力を引き出す、「人」への投資を一層加速し、一人ひとりが主役になる社会を創り上げていく必要がある



◆ 未来を担う若者のチャレンジをサポートするとともに、全ての若者が自分らしく輝けるよう、多様な主体とも連携し、一人ひとりに寄り添った施策を展開



思春期の子供から学生など成人への移行期に当たる年代を含め、若者の活躍を応援する切れ目のない支援を展開



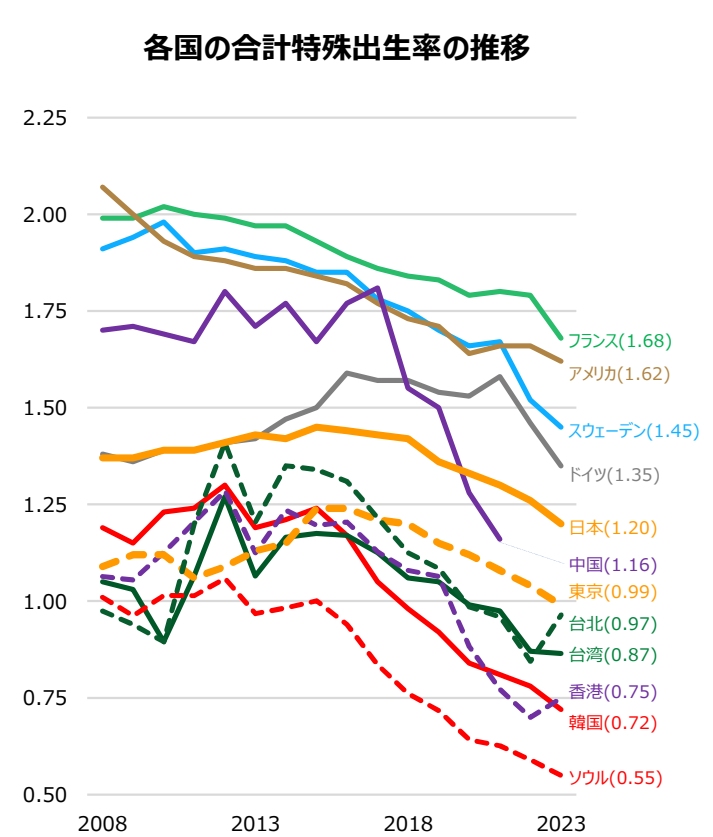
東京都の少子化対策 2025について

東京都の少子化対策 2025（概要版）

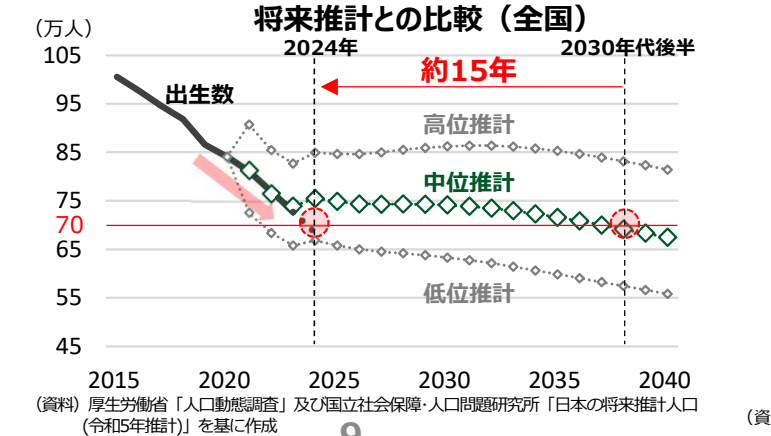
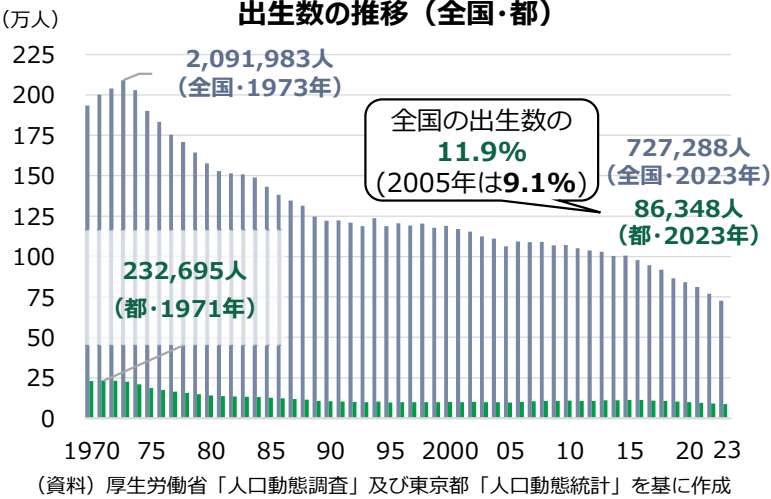
- **少子化は、社会の存立基盤を揺るがす国家的な課題であり、国が戦略的に取り組むべきものである**
都は一刻の猶予もないとの認識の下、**幅広い対策にスピード感を持って**取り組んでいる
- 「東京都の少子化対策 2025」は、都が総力を挙げて取り組む**令和7年度の少子化対策の全体像を整理したアクションプラン**である
多様な価値観や考え方を尊重しながら、都民一人ひとりの思いに寄り添い、**都民の皆様から共感の得られる施策**を幅広く展開することで、**「結婚したい」、「子供を持ちたい」と望む人を強力に後押し**していく

少子化の現状

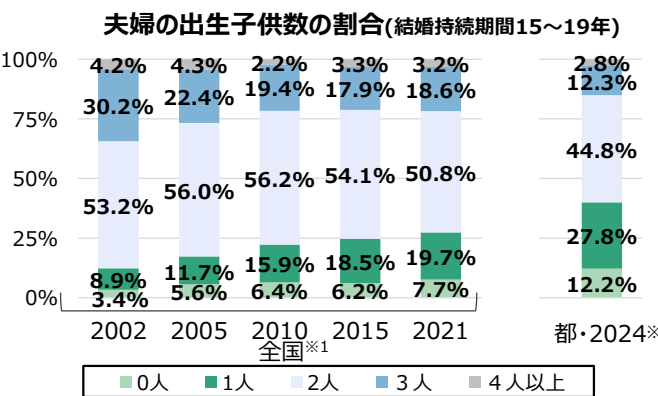
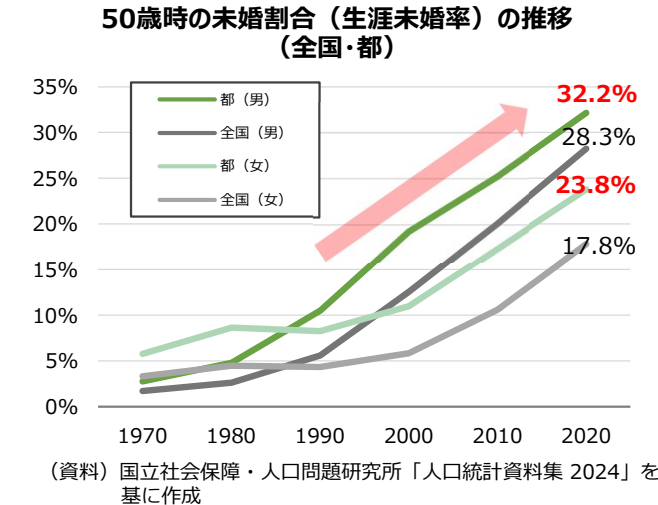
- 近年は**新型コロナウイルスの流行に伴う行動制限等により、国によって時間差があるものの、全世界的に少子化が進行**
- **2024年の全国の出生数**は、2020年の国勢調査を出発点とする国の将来推計の中位推計より**約15年前倒しで70万人を下回る見通し**
- **生涯未婚割合**は、全国・都ともに、1990年以降**大幅に上昇**。子供が**1人以下**の夫婦の割合が**増加**し、**2人以上**の割合が**低下**



(資料) OECD「Total Fertility rates」(2025年1月取得) ※括弧内は合計特殊出生率
中国は2021年
中国以外は2023年



(資料) 厚生労働省「人口動態調査」及び国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口 (令和5年推計)」を基に作成



(資料) ※1 国立社会保障・人口問題研究所「第16回出生動向基本調査 (2021年)」を基に作成
※2 東京都「令和6年度若年層及び子育て世代を対象とした意識調査」を基に作成

少子化の背景及び要因／取組強化の視点

- 少子化の要因は「婚姻数の減少」と「夫婦が持つ子供の数の減少」に大別され、その背景には社会経済状況やニーズや価値観の変容等、社会のファンダメンタルズに起因する様々な要素が複合的に絡み合っている

社会的な
人口動態

若者が抱く
将来への展望

日本全体の
社会経済状況

ニーズや
価値観の変容

少子化の進行

婚姻数の減少
～望む人が結婚できない～

夫婦が持つ子供の数の減少
～希望する子供数を持つことができない～

多様な価値観や考え方を尊重しつつ、一人ひとりの思いに寄り添いながら
「結婚したい」、「子供を持ちたい」と望む人を強力に後押し

政策分野ごとの取組強化の視点に基づき、組織の垣根を越えて共感の得られる施策を幅広く展開

①出会い・結婚	②妊娠・出産	③子育て期の支援	④教育・住宅	⑤就労環境・職場環境	⑥社会気運・環境整備
■ 望む人が一歩踏み出す後押しとなる取組を推進	■ 安心して妊娠・出産できる環境整備を促進	■ 全ての子供・子育て家庭に対し、ライフステージを通じた切れ目ない支援をシームレスに展開	■ 子育て世帯の実態に応じた教育支援を充実 ■ 子育て世帯等が安心して生活できる住宅確保策を推進	■ 若年層や子育て世帯の経済基盤を充実 ■ 子育てしやすい労働環境の整備を促進	■ 子供・子育てにやさしい社会づくりを推進

都の主な少子化対策（令和7年度予算）

出会い・結婚

妊娠・出産

乳幼児期

学齢期以降

18歳以降

ライフステージを
シームレスにサポートし、
「子育てしやすい東京」
を実現

子育て費用支援等

④とうきょうママパパ
応援事業 &
東京都出産・子育て
応援事業



第1子まで
対象拡大

018 ゼロイチハチ
サポート

・018サポート（所得制限なく0-18歳の子供たちに一人当たり月額5千円を支給）

④こどもDXの推進（プッシュ型子育てサービス・母子保健オンラインサービス・保活ワンストップ・給付金手続の利便性UP）

0歳から18歳まで、切れ目のない経済的支援

保育所・幼稚園等

④保育料等の
無償化

小・中学校

④学校給食費の
負担軽減

高校等

高校等授業料の
実質無償化

・私立中学校等授業料の助成

・都立大学
等の
授業料
実質
無償化



出会い・結婚への支援

④結婚支援マッチング
事業 TOKYO♡縁結び
AIマッチングシステム

④婚活・結婚関連団体
との連携

④結婚情報の発信

妊娠・出産支援等

④卵子凍結への支援
・不妊治療費助成



新 東京都無痛分娩費用
助成等事業

保育・教育の充実

・保育サービスの充実

- ・質の高い保育の確保・充実
- ・全ての子供の育ちの支援
- ・保育人材の確保・定着

新 東京都
病児保育推進事業

- ・施設型及び体調不良児対応型等に対する支援
- ・ベビーシッターを利用した病児保育に係る検証事業

新 東京都
認証学童クラブ事業

新 朝の子供の居場所づくり

新 学童クラブ待機児童解消
区市町村支援事業

住宅

④東京こどもすくすく住宅の供給促進

新 民間活力を活用し、子育て世帯等が住みやすい
アフォードブル住宅を供給

就労・職場
環境整備

新 企業における「年収の壁突破」総合対策促進事業

新 「手取り時間」創出・エンゲージメント向上推進事業

新 女性管理職比率・男女間賃金格差改善促進事業

新 若者世代職場定着促進事業



社会気運・
環境整備

④こどもスマイルムーブメント（育業の推進）



育 いくぐょう
みんなで作るしごと

新 若年層への戦略的な情報発信

アクション2025（主な新規拡充事業）

子育て期の支援

拡

保育料等の無償化

- 少子化対策は一刻の猶予もないことから、国が実施するまでの間、**第1子の保育料等を無償化**
- **都内全ての家庭における子供の保育料等無償化を実現（所得制限なし）**

【対象】認可保育所、認証保育所、私立幼稚園 等



<認可保育所のイメージ：現行>

	第1子	第2子		第3子以降	
	—	第1子 就学前	第1子 小学生以上	第1子 就学前	第1子 小学生以上
国制度	全額保護者 負担	保護者負担 1/2	全額保護者 負担	無償化	保護者負担 1/2
都制度	全額保護者 負担	無償化			

※3歳児から5歳児等は、国制度により無償化（令和元年10月1日～）

<令和7年9月以降>

	第1子	第2子		第3子以降	
	—	第1子 就学前	第1子 小学生以上	第1子 就学前	第1子 小学生以上
国制度	全額保護者 負担	保護者負担 1/2	全額保護者 負担	無償化	保護者負担 1/2
都制度	無償化	無償化			

第1子の保育料等無償化により

0歳から18歳まで、切れ目のない経済的支援

～ 東京都の子育て・教育費負担軽減の取組 ～

保育所・幼稚園等 (0-5歳)

- 0-2歳の第1子保育料等無償化により、都内全ての子供の保育料等を**無償化** ※R7.9月～(予定)



小学校・中学校 (6-15歳)

- 義務教育課程は公立学校の授業料**無償**
- 都内全ての公立学校は**学校給食費も無償** ※R7.1月～



高校等 (16-18歳)

- 都立も私立も所得制限なしで**授業料を実質無償化** ※R6年度～



R6年度から都立大学等の授業料も**実質無償化**



* 私立中学校に通う方には所得制限なしの授業料補助制度あり



アクション2025（主な新規拡充事業）

- | | | | |
|--|---|---|---|
| <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">出会い・結婚</div> | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">(拡) 結婚支援マッチング事業</div> | 民間事業者の専門的な知見やノウハウ等も生かし結婚を希望する方が 一步を踏み出せるよう後押し | |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">妊娠・出産</div> | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">新 東京都無痛分娩費用助成等事業</div> | 無痛分娩を希望する女性が 安心して出産できる環境 を整備 |  |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">子育て期の支援</div> | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">新 東京都認証学童クラブ事業</div> | 利用者(保護者や子供)が ニーズに応じて様々な選択や利用が可能 となるよう、 都独自の国を上回る運営基準 を満たす学童クラブを認証し、 運営費等の経費を補助 |  |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">教育・住宅</div> | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">新 アフォーダブル住宅の供給</div> | 住宅の価格や家賃が上昇する中、 民間活力 を活用し、 子育て世帯等が住みやすいアフォーダブル住宅の供給 を推進 |  |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">就労環境・職場環境</div> | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">新 企業における「年収の壁突破」総合対策促進事業</div> | 企業の人事担当者・従業員等に対していわゆる「 年収の壁 」の正しい理解の促進、状況に応じたきめ細かなサポートを行うほか、 手当等の制度の見直しを行った都内中小企業 に対し奨励金を支給 |  |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">社会気運・環境整備</div> | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">(拡) 育業の推進</div> | 育児休業は「休み」ではなく「大切な仕事」と考えるマインドチェンジに向けて愛称「 育業 」を活用し、 望む人誰もが「育業」できる社会の気運醸成の取組 を推進 |  |

不断に取組をバージョンアップ

- 対策の実効性を高めるため、**ニーズや課題を継続的に把握・分析**し施策に反映することや、統計的手法等を活用し**長期的な視点に立って政策効果を検証**することで、幅広い対策の充実につなげていく

①継続的な要因分析

- 若年層や子育て世代を対象とした調査
⇒ 生活実態や結婚・出産・子育てに関する意識を把握
- データ分析 ⇒ 少子化の現状や要因を多面的に分析
- 海外調査 ⇒ 様々な国や都市における少子化の取組を調査 等

②長期的な視点に立った効果検証

- 定量・定性の双方から検証
- 統計的手法等による分析
- 総合的な影響度を算定

✓ 運用しながら改善を重ねていく

有識者等との連携

「少子化分析・検証フェロー」をはじめとした幅広い分野の有識者、都内大学、民間シンクタンク など

コラム - 少子化を取り巻く時代の変遷（昭和～平成～令和） -



最近、少子化がよく聞くけど、
実際のところどうなんだろう？

少子化を取り巻く東京都の状況について、
40年前(昭和)と20年前(平成)を調べてみよう



1984年頃

昭和

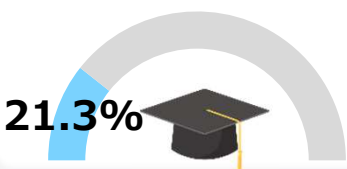


出生数 131,151人

年少人口 18.0%

※ 15歳未満

大学進学率



共働き率

(3歳未満の子を持つ親)



認可保育所数 1,591
入所児童数 148,953人
待機児童数 —

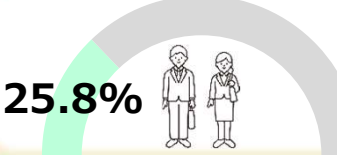
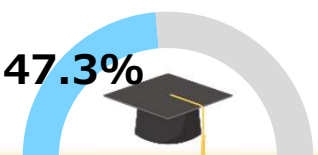
2004年頃

平成



出生数 99,272人

年少人口 11.5%



認可保育所数 1,629
入所児童数 157,163人
待機児童数 5,223人

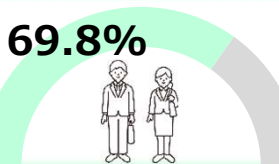
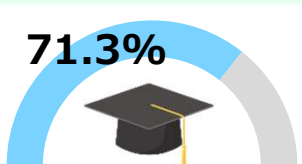
2024年頃

令和



出生数 86,348人

年少人口 11.2%



認可保育所数 3,623
入所児童数 287,492人
待機児童数 361人

<医療費助成(都)> 対象

昭和	なし
平成	未就学児まで
令和	高校生年代まで

<私立高校(都)> 補助額

昭和	なし
平成	8.3万円/年
令和	授業料実質無償化 (49.0万円/年)

<育業(国)> 期間 給付率

昭和	なし	—
平成	1歳まで	40%
令和	原則1歳まで (2歳まで延長可)	~28日:80% ~180日:67% 180日~:50%



都では、R7.9月から
第1子を含めた
全ての子供の
保育料等が無償化
されるんだ

社会やニーズの変化に
合わせて
行政の支援は
充実してきました

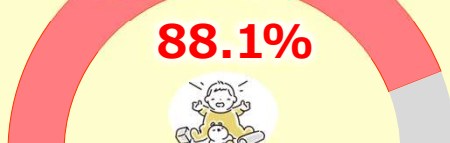
<児童手当(国)> 第1・2子 第3子~ 備考

昭和	なし	5千円	中学生まで 所得制限あり
平成	5千円	1万円	小学3年生まで 所得制限あり
令和	3歳未満:1.5万円 3歳以上:1万円	3万円	高校生年代まで 所得制限なし

都では更に
018サポートも!



東京都のママ・パパに聞いた
住んでいる地域が
子育てに良い場所であると思う
と回答した割合 (R6)



統計値は
いずれも都の数値

(資料) 出生数: 東京都「人口動態統計」、人口: 総務省「国勢調査」、
大学進学率: 東京都「学校基本統計(学校基本調査報告)」、
共働き率: 東京都「東京都福祉保健基礎調査『東京の子供と家庭』」を基に作成

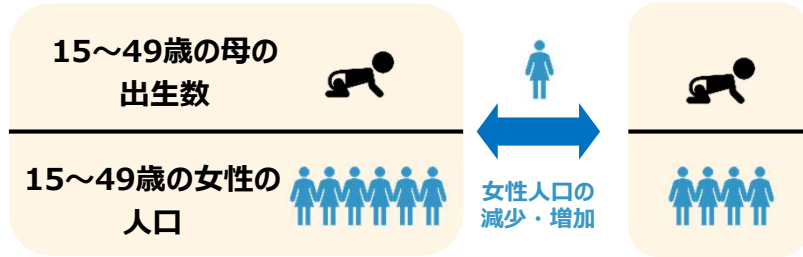
(資料) 認可保育所数、入所児童数、待機児童数: 東京都「都内の保育サービスの状況について」、
住んでいる地域が子育てに良い場所であると思うと回答した割合(R6):
東京都「とうきょう こども アンケート」(2024年5月実施分)を基に作成

コラム - 少子化に関する様々な指標について考察してみよう -

合計特殊出生率とは・・・

女性1人が一生に出産する子供の数を示したもの
(15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計した値)

<イメージ>



合計特殊出生率は少子化の度合いを測る指標の一つですが、
分母の女性人口が自治体間で移動することによっても率は変動します。

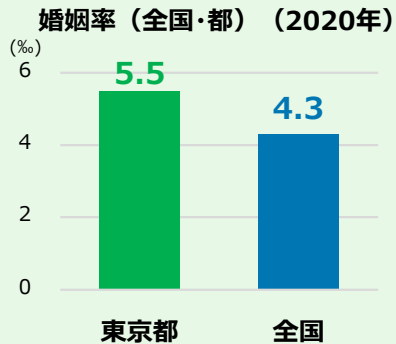


そのため、進学や就職で多くの人が移動する
都道府県間で合計特殊出生率を単純に比較することに意味はありません。

合計特殊出生率だけでは少子化の状況を
正しく理解することはできませんね。
別の視点からも少子化の様子を見てみます！



視点①：婚姻率



（資料）厚生労働省「人口動態調査」を基に作成

人口千人当たりの婚姻数は
東京都が全国第1位です。
東京都が出会いの場となっている
と言えますね。

東京都の婚姻率は全国1位

視点②：生まれる子供の数

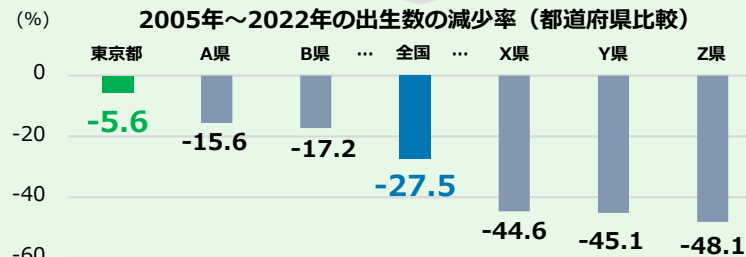
	2005	2022
合計特殊出生率（全国）	1.26	1.26
出生数（全国）	106万人	77万人

約3割減少

合計特殊出生率は
同じ数値ですが、
出生数は約3割も
減少していますね。



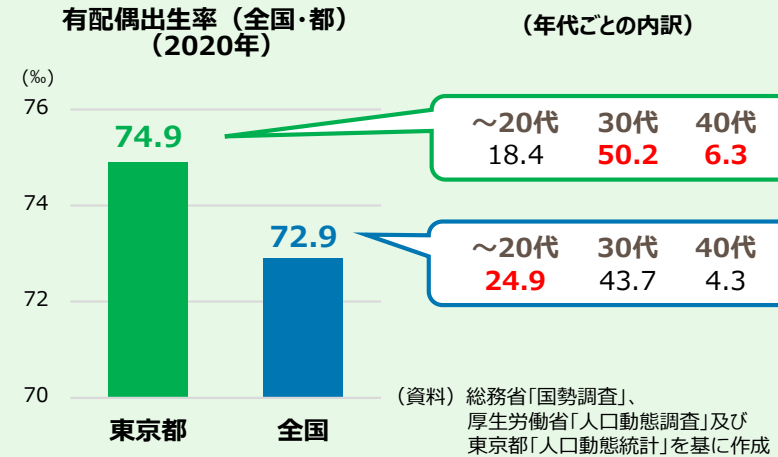
都道府県ごとにしてみると



（資料）厚生労働省「人口動態調査」を基に作成

出生数で比べると、全国の減少率は
東京都よりもはるかに大きい

視点③：結婚をしている女性が産む子供の数（有配偶出生率）



東京都は全国と比べ、
結婚をしている女性が産む子供の数は多い

年代ごとの内訳をみると、20代は全国より下回っているけど、
30代、40代で出産している女性が多いのが東京都の特徴ですね。



少子化は全国的に進んでいます。
国が国家的視点で責任を持って進めていくことに加え、
地域の特性を踏まえた取組を講じることが重要ですね。



様々な指標を調べて、少子化の現状についての理解が深まりました。
やはり多面的に見ていくことが大切ですね。

ポケットブック

こども未来アクション2025



東京都の少子化対策 2025



小学生版



(2月作成予定)

中高生版



(2月作成予定)

やさしいことば版



(2月作成予定)